

一般質問(要旨)

質問者

9月8日(木)

中村 修 議員

(いばらき自民党)

遠藤 実 議員

(県民フォーラム)

高橋 直子 議員

(いばらき自民党)

9月9日(金)

高橋 勝則 議員

(いばらき自民党)

村田 康成 議員

(いばらき自民党)

大和田 寛樹 議員

(いばらき自民党)

9月12日(月)

村本 修司 議員

(公明党)

設楽 詠美子 議員

(立憲いばらき)

幡谷 好文 議員

(いばらき自民党)

9月13日(火)

飯田 智男 議員

(いばらき自民党)

江尻 加那 議員

(日本共産党)

下路 健次郎 議員

(いばらき自民党)

こちから録面映像でご覧になれます



https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai_result&gikai_id=159



中村 修 議員
いばらき自民党
取手市選出

アレルギーに対応した食料備蓄

議員 今年6月に国が見直した防災基本計画に自治体の努力義務として明記されたアレルギーに対応した食料備蓄について、県としてどう進めていくのか。

防災・危機管理部長 市町村にアレルギー対応食品の備蓄を働き掛けるとともに、市町村支援のため、県でも一定量の備蓄を行っている。今後、備蓄が進んでいない乳幼児用ミルクの備蓄を図るほか、避難所運営に関わる方々に対するアレルギーへの理解促進に努める。



遠藤 実 議員
県民フォーラム
那珂市選出

新型コロナウイルス感染症の第7波における感染症対策

議員 第7波でどう対策を徹底し、感染拡大を防ぐのか。国と連携し、わかりやすく現状に即した施策を打ち出してほしいが、所見は。

知事 第7波では入院患者の増加により医療機関の負担が増加した。このため、医療従事者の早期職場復帰の促進や過去最多949床の確保に努めた。また、発症届の対象を限定する特例を全国に先駆けて運用し、保健所の負担を軽減した。引き続き施策の分かりやすい説明と県民不安の解消に努める。

子供の自殺対策の促進

議員 子どもの自殺の原因を把握し適切な対応が必要である。フリースクールへの支援強化なども必要であると考えるが、所見は。

教育長 自殺は何としても防がなければならぬ。そのため事案を分析し原因を把握するとともに、再発防止、未然防止に取り組んでいる。また、登校できない児童生徒には各学校でフリースクールなど一層の連携強化を図っていく。(ほかに、気候変動適応計画の充実と市町村の策定支援、地区防災計画策定の促進なども質問)



子供の推進のさらなる自殺対策のさらなる推進を(公立学校の相談室の様子)



高橋 勝則 議員
いばらき自民党
古河市選出

県西地域の更なる振興

議員 人口減少と少子高齢化に歯止めがかからない現状で、県西地域が魅力ある発展を続けるために、にぎわいの創出が大切である。さらなる振興に向けてどう取り組むか。

知事 企業誘致や農業の成長産業化、生活環境の向上について、地元自治体とも連携し、未来産業基盤強化プロジェクトの新たな選定や大規模水稲経営体の育成、まちづくりに関する助言などにより総合的に推進し、多くの方々から選ばれる地域となるよう取り組む。

県管理河川における頻発化・激甚化に対する災害への対応

議員 集中豪雨が顕著に増加し、古河市でも5月に宮戸川の法面が崩れた。復旧をどう進め、県管理河川における頻発化・激甚化する災害に対し、どう対応するか。

土木部長 本復旧に向けた工事費を今定例会で計上している。県管理河川では、堤防整備やきめ細やかな河川情報の提供など、ハード・ソフトの両面から対応を図る。(ほかに、特別支援学校等へのパワーアシストスーツ導入、不登校児童生徒の新たな居場所づくりなども質問)



大雨により被災した宮戸川

令和4年度9月補正予算案が可決

コロナ禍における原油価格・物価高騰などへの対応として、低所得の子育て世帯への支援や飼料・肥料高騰に直面する農業者への支援を行うほか、防犯対策の強化、社会資本の整備など、県政の課題などへ対応するために必要な事業について計上した9月補正予算案(約118億900万円)が可決されました。

9月補正予算案に計上された主な事業 (54億5300万円)

(1) コロナ禍における原油価格・物価高騰等対策 (54億5300万円)
新 低所得の子育て世帯生活応援特別給付金事業(低所得の子育て世帯に対する県独自の支援金の交付)

新 飼料価格高騰緊急対策事業(配合飼料価格安定制度生産者積立金の増額分および自給飼料の生産拡大のための取り組みに対する支援)

新 資源循環型農業構造転換緊急対策事業(化学肥料を削減し、たい肥などの活用を図るために必要な機器整備などに対する支援)

(2) 県政の課題等への対応(7100万円)
新 観光施設民間活力導入検討事業(伊師浜国民休養地などの魅力向上に向けたマーケットサウンディング調査の実施)

(3) 社会資本の整備(62億8500万円)

つくば霞ヶ浦りんりんロードへの誘客促進

議員 初心者でもサイクリングを気軽に始められるよう、特に利用の少ない女性に向けた戦略的なPRが欠かせないと考えるが、誘客促進に向けた取り組みは。

県民生活環境部長 女性サイクリストの意見を反映したオリジナルTシャツの作成・販売など、女性や未経験者を含めた新たな利用者の創出に取り組んでいる。引き続き、サイクリストの目線に立った環境の整備を進めていく。

(ほかに、就学前教育の充実、フッ化物洗口の普及なども質問)



つくば霞ヶ浦りんりんロード

ケアラー・ヤングケアラー条例制定後の進捗

議員 昨年12月に成立したケアラー・ヤングケアラー条例を踏まえた取り組みの進捗状況はどうなっているのか。また、どのように政策を講じていくのか、その意気込みは。

福祉部長 児童・生徒や学校、支援機関などに対する実態調査の実施に加え、各市町村の相談窓口を明確化した。教育庁とも連携し、学校現場における相談機能の充実強化などにより、ケアラーの早期把握・早期支援につなげていく。(ほかに、保育人材の確保、介護人材の確保なども質問)



ケアラーによるヤングケアラーの支援